



▲真剣な表情で花火玉の説明を受ける参加者

今年の花火大会が楽しみ！ 古河市民大学 花火学講座

スペースU古河で5月9日に、花火製造工場で見学した後に、花火学講座を開催しました。

花火の構造や、社会的な観点から花火大会の背景を学んだ後、花火製造工場を見学したり、花火玉の紙貼りを体験したりして花火の知識を深めました。

参加者からは「今年の花火大会が楽しみ！」「花火の見方が変わるね」などの声が聞こえ、花火に対する関心を高めました。



▲古河市長や古河桃むすめのほか101人が交通安全を呼びかけました

交通マナー向上で事故ゼロを 春の全国交通安全運動 街頭キャンペーン

春の全国交通安全運動が5月11日から5月20日まで行われました。5月10日には市や古河警察署、交通安全関連団体などが諸川交差点で街頭キャンペーンを実施。「子どもと高齢者の安全確保」や「高齢運転者の交通事故防止」を呼びかけました。

春のスローガンは「あぶないよ 画面見ないで 前を見て」。スマートフォンなどの画面を見ながらの運転をせず、しっかり前を見て運転しましょう。

ふるさと古河を「再発見」 歩き・み・ふれる 歴史の道散策

5月12日、歩き・み・ふれる歴史の道散策を開催しました。

このイベントは地域の身近な歴史に触れ、歴史文化への理解を深めるために行われています。

参加した23人は、講師の田嶋幸男氏とともに正麟寺や本成寺、雀神社など市内の名所・旧跡を散策し、古河の歴史への関心を高めました。



▲本成寺での説明に熱心に聞き入る参加者

狂犬病感染を防ぐために 春の狂犬病予防注射



▲1,917匹が定期予防注射を受けました

4月5日～4月19日、狂犬病予防の定期集合注射を市内44カ所で実施しました。

犬を飼っている人には、狂犬病予防法により、生後90日を経過した飼い犬の登録と、飼い犬に年に一度の狂犬病予防注射を受けさせることが義務付けられています。期間中に予防注射ができなかった場合は、動物病院で受けさせてください。

姉妹都市締結30周年記念事業 第32回 梅の里マラソン大会

5月4日、山形県真室川町で第32回梅の里マラソン大会が開催されました。真室川町と古河市の姉妹都市締結30周年記念事業として行われた今回は、古河市からも6人が参加しました。

江戸時代に結ばれた土井家と鮭延家の縁を大切に、これからも交流を続けていきたいと思えます。



▲梅の花が咲く真室川公園からスタートしました

多文化の共生を目指して 古河市国際交流協会 日本語教室



▲真剣に平仮名の書き方を学ぶスリランカ人の参加者

4月17日、はなももプラザで日本語教室が開催され、多くの外国人が参加しました。

この教室では日本語学習を中心としていますが、教科書に沿った学習だけではなく、日本文化や伝統行事も学ぶことができます。

参加者は、慣れない日本語を使いながらも、講師と楽しく学んでいました。